

### 第3回道南地域（五稜郭・木古内間）第三セクター鉄道開業準備協議会 議事録

（ 日 時：平成25年3月25日（月）  
13：30～14：00  
場 所：渡島総合振興局 4階402号会議室 ）

#### （北海道新幹線・交通企画局長）

- 本日は、お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。ただいまから、第3回道南地域（五稜郭・木古内間）第三セクター鉄道開業準備協議会を開催します。開会に当たり、副知事の高井からご挨拶を申し上げます。

#### （北海道副知事）

- 年度末の大変お忙しいところご出席いただき、ありがとうございます。
- 今年1月に第2回道南地域（五稜郭・木古内間）第三セクター鉄道開業準備協議会を開催し、三セク会社の経営や鉄道運行に関する基本方針の骨子について協議いただきました。その際にいただいたご意見も参考にしながら、本日は基本方針の案を取りまとめましたので、協議の上、決定したいと考えております。
- いよいよ北海道新幹線開業まであと3年となり、あと1年と少しの間に、第三セクター会社を立ち上げる予定で進めていかなければならないと考えております。4月以降、会社の設立や運行方法など、非常に多くの事柄に関して具体的な内容を詰めていく必要がありますが、引き続きご協力をお願いします。本日は忌憚のないご意見を賜ればと思います。
- それでは、議題（1）「並行在来線の経営・運行に関する基本方針（案）について」、事務局から説明します。

#### （北海道新幹線・交通企画局長）

～資料1により説明～

#### （北海道副知事）

- ただ今の説明に関して、質問等ご発言があればお願いします。

#### （木古内町長）

- 今回この文言を変えることではないですが、ただ今説明をいただいたほかに、マイレール意識の醸成による利用促進という部分で網羅されるとは思いますが、「1基本理念」として、収益をあげることも大事ではないかと思えます。

#### （北海道副知事）

- 第三セクターとして運営していくわけですから、当然、収益性も求めていかなければならないと思いますが、基本理念でそれを謳うかどうかは、ご意見をいただきたいと思えます。

#### （北斗市長）

- 基本方針は、前回骨子案で協議して、基本的には議論されたことが反映されていますので、

これでよろしいと思います。

- 駅の無人化について、前回の基本方針の骨子で出され、新聞報道がありました。  
また、私どもの議会で慎重な意見があり、「第三セクターは、最初から赤字が見込まれるため、収支の改善も非常に大きな課題だ」と答弁しました。その中の一つとして、駅の無人化も検討しなければならないので、「無人化した場合の経費の削減効果やサービス内容をよく議論して、進めていきたい」とお話をしたのですが、駅の無人化について、今までの協議会ではあまり議論されていなかった感じがしており、住民からすると突然出てきた印象があったのではないかと思いますので、これからきちんと議論して、丁寧に説明していく方向で是非ともお願いします。

(北海道副知事)

- それでは、基本方針(案)について、決定ということによろしいでしょうか。

～賛同～

- 次に議題(2)「今後のスケジュールについて」事務局から説明します。

(北海道新幹線・交通企画局長)

～資料2により説明～

(木古内町長)

- JRとの交渉窓口は、現在、北海道をお願いをしています。譲渡や購入などが議論されると思いますが、道に加えて、三セクをこれまで経験していた方や、民間でこの事業に積極的に取り組む強い意志のある方の意見も聞きながら、JR北海道と交渉していくことを提言したいのですが、いかがなものでしょうか。
- 先般、先行鉄道会社を視察した際に、社長から極めて貴重なお話をいただきました。今10年以上経過していますが、設備の維持や改修に多大なお金がかかっており、想像以上に信号機が多くあったり、様々なJRの設備があります。しっかりと整備を行った上で譲渡を受ければ問題ありませんが、そうでなければ相当お金がかかるというお話をいただきました。これを窓口となっている道の方々がどこまで把握されているか。ある程度経験を積んだ方の意見も参考にしながら、その上でJR北海道との交渉に当たることが必要ではないかと考えたものですから、今のような発言をさせていただきました。

(北海道新幹線・交通企画局長)

- 町長のお話は以前から伺っており、そういう機会を持てるようにしたいと思っております。
- 設備関係は、すぐに手を入れなければならない状態で引き継ぐと大変なことになることは、先行県の方たちから事務的に色々伺っています。また、本州は、江差線と違って非常に距離が長く、金額も大きいし、100kmを超えるような路線ですので、非常に大変です。我々以上にはるかに鉄道資産の管理が大変だと伺っておりますので、JRとはこれまでも色々話をしていますし、後ほどの議題で考えております、JR北海道への支援要請という形で、我々も既に事務的には行っていますし、今度は協議会や構成する三者それぞれが、共通の要

望・要請と言う形で、引き継ぐ資産の引き継ぐ前の必要な修繕や改修などを十分して欲しいというお願いを改めてしていきたいと考えております。

**(木古内町長)**

- 道の担当者が、精通した方がたくさんいらっしゃるのであれば対等の議論ができると思いますが、そうでなければ先方との交渉で、分からないまま引き継いでしまうことが非常に心配ですので、是非、熟知された方の意見も伺いながら進めていただくようお願いいたします。

**(副知事)**

- 先行他県の事例もよく聞いた上で対処したいと思っています。
- 次の「その他」であります。前回の協議会におきまして色々ご意見をいただきました。民間企業・団体への出資要請はどうなるのか、J R北海道及び国への支援要請をどうするのか、それからJ R函館線との乗継運賃、新駅の設置についてご意見があったところですが、J R函館線との乗継運賃や北斗市長からお話のありました新駅の設置は、今後、幹事会の場合などで検討させていただいた上で、必要に応じて協議会で協議して参りたいと思っております。

民間企業・団体への出資要請とJ R北海道及び国への支援要請について、資料を用意しましたので、現在の検討状況などについて、事務局から説明します。

**(北海道新幹線・交通企画局長)**

～資料3により説明～

**(北海道副知事)**

- それでは、ただいまの説明に関し、ご質問等ございませんか。

(発言なし)

**(北海道副知事)**

- よろしいですか。次に、J R北海道と国への支援要請について、事務局から説明します。

**(北海道新幹線・交通企画局長)**

～資料4により説明～

**(北海道副知事)**

- ただいまの説明に関し、ご質問等ございませんか。

(発言なし)

**(北海道副知事)**

- 全体を通して、ご意見等ございませんか。

**(北斗市長)**

- 貨物調整金制度が拡充されたのが2年くらい前で、10年間の期限付きだったと思いますので、今からそのことを言うのはちょっと早いです、必要な時期にその延長もお願いしなければなりません。

**(北海道新幹線・交通企画局長)**

- 並行在来線の関係は、先ほど申し上げたように我々よりも1年前に北陸区間がありますし、貨物調整金制度は、東北や九州も対象となり、延長要請は一緒にやっけて行かなければならないと思います。

**(北海道副知事)**

- その他ございませんか。  
第三セクターの設立まで1年とほんの少しとなりましたので、大変タイトなスケジュールではありますが、10月には経営計画の策定をして、第三セクター鉄道会社を円滑に設立するための準備を進める、引き続きご協力をお願いします。本日はありがとうございました。

(以上)